

むらびと芸術館

肥後狂句(阿蘇御神火会)

あせくって やっぱM寸ばあっかり
温もって 日向の匂う布団敷く
入院室 ここも奉行の居らしたつ
待て待て 瓦礫の下で声がする
良かお客 何万も打ち込みよらす
もう終り 歳のせいちゅう掛かりつけ
良かお客 親子二代の得意さん
おめかいな 夫婦ゲンカもぼそぼそと
すびくねエ ストープに抱きつこごたる
もう終り ハサミも櫛もいりません
もう終り 縁者の見舞い次々と
おめかいな 主にもちよつと非のあるぞ
もう終り 十人力のコンバイン
入院室 見舞いの客で疲れ果て

後藤 愛子

松山キヨ子

桐原 白酔

佐藤多可雄

大塚はたる

市原 正成

倉石 晴代

俳句(火の国俳句会)

煌めいて氷柱の先の一しづく
炬燵出て薄日の中を三百歩
細氷の中に降り立つ北空港
竹林に日がな遊ぶや北の風
薪減りてこころもとなし寒四郎

藤本じゅん子

後藤すみれ

菊池 蘇水

藤本 一心

中島 敬吾

兼題(雪)

あなぐまが挨拶にきた雪の寺
草も木も息ひそむるや雪の朝
地震の傷雪形となり阿蘇の山
軒下に小流れとなる雪解水
雪煙屋根より地より巻き上がり

菊池 蘇水

藤本 一心

藤本じゅん子

後藤すみれ

中島 敬吾

俳句

桜の花ほど良い幸せわ
まどろんは窓から見る朝月淡く見へ
絆でしようか孫がかしこく見えるのは
節分の赤児の手にも豆まかす
園児らに豆を打たれし保母の鬼

広瀬 笑子

渡邊ヨシ子

阿蘇のやま

1、外輪ドライブ 下界は雲海
遠くに観音 寝てござる
白煙のぼる 阿蘇のやま

2、俵山(とおげ)超えれば みなみ阿蘇
水源 出で湯(いでゆ) あふれてる
清く美しい 阿蘇のやま

3、草原雄大 阿蘇の道
四季の草花 迎えてる
小鳥さえずる 阿蘇のやま

神毛 信

短歌

悲しみの同級生に見送られ
友逝きませり春を待たずに
毎日の散歩も愛犬居ればこそ
着ぶくれて出る雪降る時も

松山みなみ

皆さんの作品も掲載します

「広報 みなみあそ」では、団体加盟の作品の他、村民の皆さんの作品をお待ちしています。俳句や短歌、イラストなど、どしどしお寄せください!

〈提出日〉毎月5日締め切り

〈宛先〉〒869-1404 南阿蘇村大字河陽 1705-1

南阿蘇村役場 企画観光課企画係

〈Eメールアドレス〉kikaku@vill.minamiaso.lg.jp

〈お問い合わせ〉企画観光課企画係 TEL (67) 2230

※作品を提出される際は、必ず「お名前」「連絡先」をご記入ください。

